

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

支持層の不陸にも対応します!

某共同住宅計画

本件は、東武練馬駅からほど近い住宅街に建設される壁式鉄筋コンクリート造・地上5階建の共同住宅新築工事です。
 ご依頼いただいた際、敷地内で6ポイントのボーリング調査を実施しているなか、中間層のN値や支持層深度にバラツキがあるため、杭先端深度／杭長設定が課題となりました。
 設計者様には、弊社の特徴であるe-pile next工法のメーカー兼自社施工という一貫体制の強みを活かして、支持層の不陸にも迅速な現場対応が可能なおことをご理解いただいた上で、各ボーリングデータを参考としたゾーニングにより杭長や杭径を細かく分けて経済的な提案をおこない、e-pile next工法をご採用いただくことができました。
 実施工に於いては、e-pile next工法の特徴である先端特殊部の「高力構造」と、貫入性に優れた「菱形切削孔」が威力を発揮し、支持層の不陸に対応しながらも確実に支持層を捉え、全箇所において提案した杭長と差異なく精度の良い打ち止めができました。
 元請様には搬入誘導や養生鉄板の安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事完工できました。

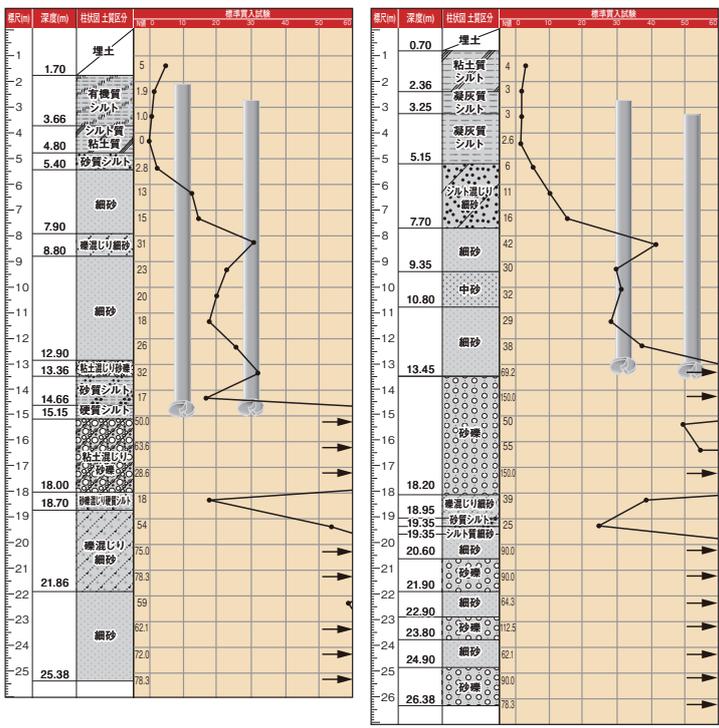
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某共同住宅計画	杭 径	φ406.4 mm、φ355.6 mm、φ267.4 mm
施工地	東京都板橋区	拡翼径	Dw 900 mm、Dw750
用途	共同住宅	拡頭径	-
構造	壁式鉄筋コンクリート造 地上5階	深 度	SGL -12.40 ~ 14.60m
延床面積	2684.22 m ²	支持力	799KN ~ 1.248KN / 本
工 期	2025年1月7日~2025年1月27日	本 数	86 本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤

日本建築センター BCI評定-FD0540-01 BCI評定-FD0541-01 BCI評定-FD0542-01

基礎評定(引抜支持力) 砂質地盤 硬質地盤 粘土質地盤

日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造 / 拡翼断面図

■ FEM解析図

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile 検索



100億宣言を開始します

中小企業庁及び独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)は、売上高100億円という高い目標を目指し、それに向けて挑戦を行う企業・経営者を応援するプロジェクトの第一弾として、「100億宣言」を新たに開始します。なお、「100億宣言」の申請受付開始は、5月頃を予定しております。ぜひ、宣言の申請をご検討ください。

1. 「100億宣言」とは

「100億宣言」とは、中小企業の皆様が飛躍的成長を遂げるために、自ら、「売上高100億円」という、経営者の皆様にとって野心的な目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを、宣言するものです。

2. 「100億宣言」に記載する内容

「100億宣言」には、主に以下の4つについて、記載いただきます。

- ・企業概要
- ・企業理念・経営者の意気込み
- ・売上高100億円実現の目標と課題
- ・売上高100億円に向けた具体的な 措置(取組)

3. 「100億宣言」を行うメリットについて

「100億宣言」の取得が一部の支援を活用する上で、基本要件となっている場合があります。(例) 中小企業成長加速化補助金、経営者ネットワーク等
 また、「100億宣言」企業は以下の公式ロゴマークを使うことができます。名刺などに記載することで、自社の取組をPRすることができます。

2025年5月頃特設ポータルサイトにて申請の受付を開始します。詳細については中小企業庁HPをご確認ください。



ワンポイント 健康コラム

<<花粉症シーズン到来>>

花粉症!

2025年は例年よりやや多めの花粉が飛ぶと予想されています。

すでに1月下旬に静岡市で15度近くまで上がる暖かい日が度々あったこと、2月3日頃から北西の風が強まったこと等により、花粉が飛びやすい状態となりました。



スギ花粉は2月下旬から飛び始め、ピークは3月中旬から下旬です。3月中旬に入るとスギ花粉の飛散は徐々に収まり、代わって西日本や東日本ではヒノキ花粉の飛散が増えています。ヒノキ花粉が本格的に飛散するのが最も早いのは九州や中国・四国で3月中旬からの予想です。

近畿や東海、関東・山梨が3月下旬から、北陸・長野、東北部は4月上旬に飛散のピークを迎える見込みです。北陸や東北部ではヒノキの樹木が少ないため、スギ花粉に比べると飛散量が少なくなるとみられています。

特に晴れた日や風の強い日は要注意!
 外出時はマスクや眼鏡でしっかり対策をしましょう。

<<自分でできる花粉症対策>>

- ① マスクや花粉症用めがねの着用
- ② うがいや目薬の点眼
- ③ ストレスを溜めない
- ⑤ 睡眠不足にならない
- ⑥ 病院で内服薬を処方



花粉症のつらさは患っている人でないと分からないものです。自分でできる対策はしっかりとってピークシーズンに備えましょう!



経理マンが行く

ネット被害

<ランサムウェアの侵入手口>

こんにちは。管理部経理課の鈴木航です。皆様は「ランサムウェア」をご存知でしょうか。ランサムウェアとは、「ランサム(身代金)」と「ソフトウェア」を組み合わせた造語でユーザーの所有するPC内のデータを暗号化し、復旧する代わりに身代金を要求するという手口のことです。現在では、データの暗号化に加え、窃取したデータの公開を行うという「二重恐喝型」の手口もあることから、企業の情報漏洩対策にはより一層の注意が必要な時代となりました。



【ランサムウェアの侵入手口】

ランサムウェアの感染経路は、メールの添付ファイルやリンクを使用する手口の他、感染したWebサイトから「ドライブバイダウンロード(※)」でランサムウェアを侵入させる手口、フリーWi-Fiに接続した機器から侵入させる手口等、様々な手口が挙げられます。

(※)「ドライブバイダウンロード」とは…ユーザーがWebサイトやパナー広告を閲覧した際に、自動的に悪意のあるソフトウェアをダウンロード・インストールさせる手口のこと

【ランサムウェアの対策方法】

ランサムウェアによる様々な侵入手口を挙げましたが、しっかり対策を行うことでこれらの侵入を防ぐことができます。主な対策方法は下記の通りです。

- ・不用意にメールに添付されたデータやリンクを開かない
 (※実体験ですが、会社の取引先やAdobe等のソフトウェア会社を装ったケースもありました。「前触れもなく、突然連絡が届いた」という場合には、特に注意してください。)
- ・PCやインターネット機器のアップデートは必ず行う
 windows等で行われるアップデートには、新たなウイルス脅威に対するセキュリティを追加するものもあります。しっかりアップデートを行いましょう。
- ・ウイルス対策ソフトのインストールとアップデート
- ・フリーWi-Fiへの接続はなるべく避ける

やむを得ず接続する場合には、機密性の高い重要な情報の入力とは避け、VPN接続を行うようにしましょう。

インターネットは便利なツールである一方、それを悪用して利益を得ようとする者もいます。ランサムウェアによる被害は自身や会社にとって大きな損失となってしまいます。一人一人が正しい知識をもって、インターネットを利用することが大切なのかもしれませんね。

